

「理学療法の科学と研究」執筆規程

2025年4月1日
編集委員会改正

1. 論文の構成

- 1) 標題：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する。用語は本文に用いた言語とし，キーワードを含むように配慮する。原則として略語・略称は用いない。
- 2) 著者名：共同著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。なお，著者資格については投稿規定 3. 投稿者の資格を参照すること。
- 3) 要旨：和文「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- 4) キーワード：標題および要旨より抽出し，不十分な場合は本文から補充する。国際的に広く通用する言語又は日本語で表示する。
- 5) 本文：
 - ①はじめに（序論，緒言）：研究の背景，臨床的意義，研究の目的，取り扱っている主題の範囲，先行研究との関連性の明示などを記述する。研究テーマに関連した先行研究について必ずレビューをすること。
 - ②対象および方法：用いた研究方法について第三者が追試できるように記述する。倫理的配慮は、投稿規定8. 研究倫理に従って記述すること。
 - ③結果（成績）：研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは，検証，追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す。
 - ④考察（分析）：結果の分析・評価，今後の課題，などを記述する。
 - ⑤結論：研究で得られた結論を 200～300字で簡潔に記述する。内容が要旨の重複する場合，もしくは紙面に限りがある場合は省略しても構わない。
 - ⑥謝辞：著者資格には該当しない研究への貢献者，および助成金受給については謝辞に記載する。
- 6) 文献：引用文献のみとする。

2. 投稿原稿の構成

- 1) カバーレター，論文原稿，図，表で構成する。
ただし，英文要旨も別に添付されていれば受け付けるものとする。
- 2) 原稿はA4用紙の設定とし，書式は，余白25mm，1段組（40文字×30行），12ポイント明朝体，英数文字は半角Times New Romanで記載すること。
- 3) 原稿にはページ番号（最下部中央）と本文左側にページ毎に，1行ごとに行番号を振ること。

3. 原稿の規程分量

研究論文，症例研究は，要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 6頁（400字詰め原稿用紙30枚・12,000字相当）。短報は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 4頁（400字詰め原稿用紙 20枚・8,000字相当）。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 5頁（400字詰め原稿用紙 25枚・9,600字相当）。図表は，刷り上がり 1/4頁大のものとし，1個を 400字と換算すること。

4. 要旨

論文には和文の要旨（400字以内）をつけること。原則，和文要旨は必ず記載するが，英文要旨の併記も可能とする。英文要旨がある場合は，原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受けること。

5. カバーレター，表紙頁および著者頁（確認事項）：

カバーレターは，論文原稿とは別に作成し，投稿の際に添付すること。論文には表紙頁および著者頁をつけること。

- 1) カバーレターには，標題，希望する記事の種類，研究の必要性，研究の目的および主な結果，研究結果の臨床的意義を記載すること。
- 2) 表紙頁には，標題，英文標題，希望する記事の種類，キーワード（3個），本文ページ数および本文文字数，図表枚数，総原稿文字数（図表含む）を記載すること。
- 3) 著者頁には，著者名（共同著者を含む），職種と学位（略称可），所属名，英文の著者名（共同著者を含む），英文の所属名を記載すること。また責任著者連絡先を別に記載し（通知文書や校正原稿をやり取りするため），責任著者名，所属名，住所，電話番号，個人のE-mailアドレスを明記すること。論文が採択された際は，責任著者連絡先の所属・住所を公開するため，実際の連絡先と公開の連絡先が異なる場合は，その旨明記すること。

6. 図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に，それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に，表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり，許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は別のファイルで作成すること。スライド図・表は投稿用に作成し直すことがある。

7. 文献

学会抄録や研修会の資料は原則として引用を認めない。但し，研究を遂行する上で必要な場合などはその限りではない。

文献を引用する場合は，本文中の引用箇所の上肩に肩番号を記載すること。連番の場合は「-（ハイフン）」で繋げること。

- [例] 「小室ら¹⁾によると・・・」
「・・・という説もある²⁻⁴⁾⁶⁾。」
「Ramachandranら⁸⁾は・・・」

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初-最終）の順に書き，単行本の場合は著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁を記載する。文献名の省略は米国国立医学図書館（註2）の方法に従うこと。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載し，それ以降は「他」や「et al.」とすること。

[例]

- 1) 宮本謙三，竹林秀晃，他：加齢による敏捷性機能の変化過程－Ten Step Testを用いて－. 理学療法学. 2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉：肩－その機能と臨床－（第3版）. 医学書院，東京，2001，pp. 156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97-112.
- 5) 名郷直樹：EBMの現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp. 18-38.

- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成 23年度版.
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年 12月 19日引用)
- 7) Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. Am J Nurs. 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htmArticle>
- 8) Zhang M, Holman CD, et al.: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. BMJ. 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID: 19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: <http://www.cancer-pain.org/>.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from: <http://www.ama-assn.org/ama/pub/category/1736.html>

8. 数量の単位

単位は原則として国際単位系 (SI単位) を用いる。長さ : m, 質量 : kg, 時間 : s, 温度 : °C, 周波数 : Hz等。

9. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

10. 機器名の記載法

機器名は, 「一般名 (会社名, 製品名)」で表記する。なお, 統計ソフトは「製品名, バージョン番号」とする。

11. その他

- 1) 必要がない限り, 表に縦線は使用しないこと。
- 2) 図は線画の太さを 1 mm以下の線とする。写真は原寸印刷が可能なように, 横は, 8 cm または16 cmのいずれか, 縦は 9 cm以下の大きさとする。
- 3) 原稿には, 表紙を含めページ数を必ず記入する。

註1 : 国際医学雑誌編集者委員会 : 生物医学雑誌への投稿のための統一規定 (http://www.icmje.org/urm_main.html) を参照すること。

註2 : 文献の引用例7) ~8) は英文電子ジャーナル, 9) , 10) は英文ホームページの引用例である。詳しくは以下の米国国立医学図書館ホームページを参照すること。

http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html